

中間とりまとめ(案)の概要

資料3



3. 資源・エネルギーとしての
河川の利活用

1. 安全を持続的に確保する
ための仕組みの構築

2. 危機対応力の向上

(1) 資源・エネルギーとしての河川の 利活用促進と担い手の拡大

- ① エネルギーとしての流水の活用促進
- ② 担い手としての民間企業の役割の
拡大
- ③ 市民団体等の管理における位置付
けの明確化



(2) 地域資源としての河川環境 の再生

- ① 具体的目標を持った河川環境の
管理
- ② 河川環境を再生させる維持管理・
更新の展開
- ③ 不法行為の是正推進



4. 流域の視点が 必要な河川の 管理としての 新たな対応

現在の治水施設の能力を超える洪水の頻発に加え、地球温暖化による気候変化の影響も懸念される状況下での河川の管理と流域全体の防災力のあり方、流域・地域の連携強化のために河川管理者が果たす役割等、近年の自然条件の変化や新たな社会的要請に対応し、流域の視点が必要な河川管理の対応を検討

(1) 河川の特質に応じた管理水準持続的な確保

- ① 適切な管理水準確保に関する河川制度の整備
- ② 河川の規模や施設の重要度等に応じた管理水準の確保



(2) 管理技術を伝承する人づくり、仕組みづくり

- ① データベースの構築
- ② 管理の技術継承、人材育成
- ③ 地域の安全を支えてきた体制の維持・充実
- ④ 都道府県等の支援体制の整備



(3) 河道システムにおける施設管理

- ① 河道や施設の安全性を総合的に評価
する技術の研究開発と実用化
- ② 許可工作物の確実な維持管理



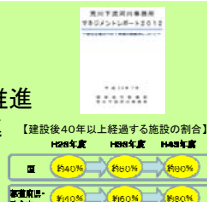
(4) 技術開発の強化

- ① 河道・堤防の効率的な点検・診断技術
の開発と実用化
- ② コンクリート構造物等の点検・診断技術
の実用化



(5) 戦略的なマネジメント

- ① 管理の現況評価と公表
- ② 河川構造物の長寿命化対策等の推進
- ③ 長寿命化に資する技術開発の推進
- ④ 中長期のマネジメントの導入



(1) 出水時の確実な施設 機能の確保

- ① 危機対応型施設の定着



(2) 地域の防災力との 強固な連携

- ① 地域で水災を防ぐ中心とな
る水防との連携の再構築
- ② 防災力として地域住民、民
間企業等の役割の拡大

